



intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0

ViewCreator ユーザ 操作ガイド

❖ 変更履歴

変更年月日	変更内容
2008/07/07	初版
2009/06/30	第2版 「1.2.4 HTML出力」に注意事項を追加

第1章 ViewCreator 1 Contents 1.1 ViewCreator 2 1.2 データ参照一覧 3 1.2.1 データ参照表示の種別 4 1.2.2 データ参照表示 7 1.2.3 CSV出力 11 1.2.4 HTML出力 12

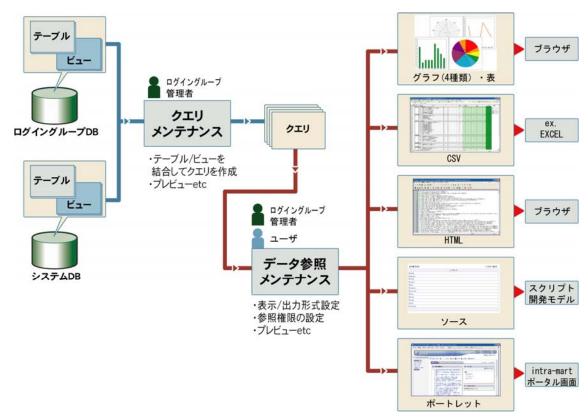


第1章 ViewCreator

1.1 ViewCreator

ViewCreatorは、データベースのデータを使用して作成されたさまざまな表やグラフを参照することができるツールです(データの作成はログイングループ管理者が行います)。

表示するだけでなく、データの検索や表示項目の絞込み、並び順の変更などを行うこともできます。また、 CSV/HTML形式のファイルとして出力することもできます。



<ViewCreator>

i

Column

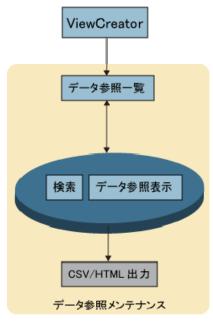
一般ユーザによるクエリ/データ参照の作成

初期設定では、クエリ/データ参照の作成はグループ管理者のみが行えるようになっています。しかし、グループ管理者に必要な権限を設定してもらうことで、一般ユーザもクエリやデータ参照を作成することができるようになります。

権限設定の詳細については、「1.2.9一般ユーザにクエリ/データ参照の作成権限を与える」を参照してください。

1.2 データ参照一覧

データ参照メンテナンスでは、指定した既存データベース選択して次の作業を行うことができます。データ参照は、ログイングループ管理者が設定した範囲でデータを参照することができます。また、参照したデータはCSVやHTML形式のファイルに出力することができます。



〈データ参照メンテナンス〉

データ参照メンテナンスで、ユーザができる操作は次のとおりです。

- ❖ データ参照表示
- ❖ CSV 出力
- ❖ HTML 出力



1.2.1 データ参照表示の種別

データ参照表示には次のような種別があります。



1.2.1.1 リスト表示

データがリスト表示されます。検索を実行し、絞り込んで表示することもできます。



〈リスト表示〉



1.2.1.2 サマリ表示

データがサマリ表示されます。検索を実行し、絞り込んで表示することもできます。



〈サマリ表示〉

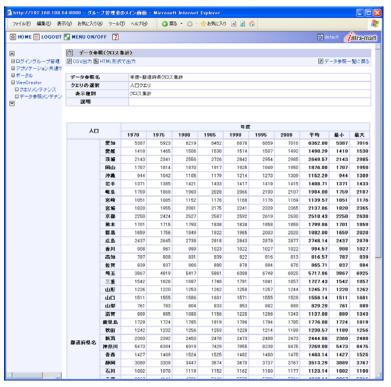


1.2.1.3 クロス表示

データがクロス表示されます。



● クロス集計は、データ参照の設定やデータ量により、表示に時間がかかることがあります。



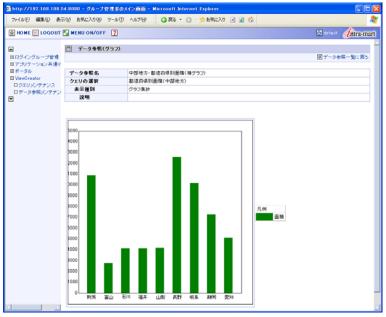
〈クロス表示〉



1.2.1.4 グラフ表示

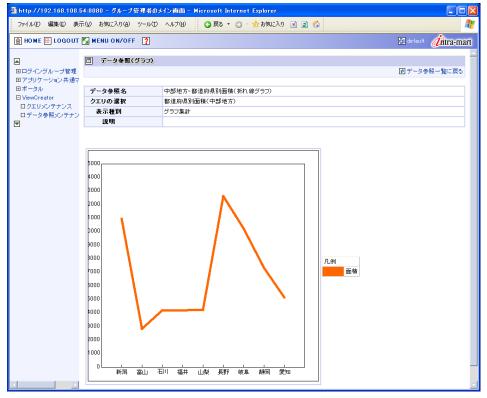
グラフ表示では、データがグラフで表示されます。グラフには次の4種類があります。

■棒グラフ



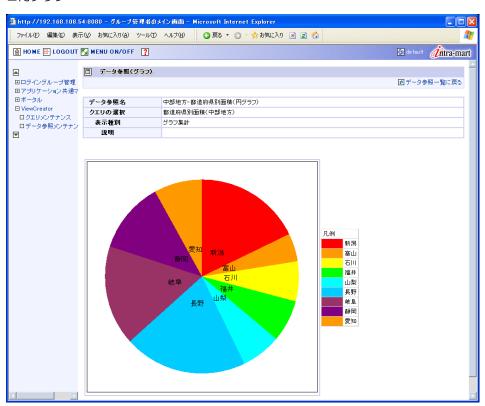
〈棒グラフ〉

■折れ線グラフ



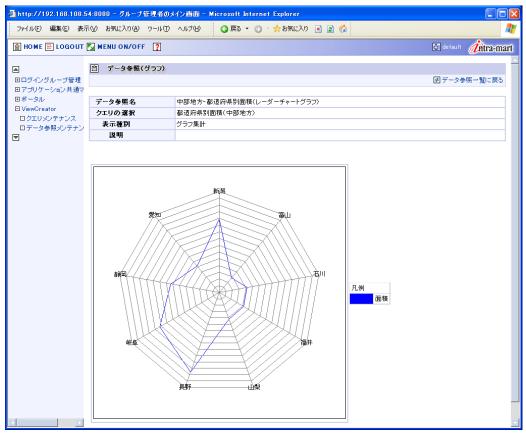
〈折れ線グラフ〉

■円グラフ



〈円グラフ〉

■レーダーチャート



〈レーダーチャート〉

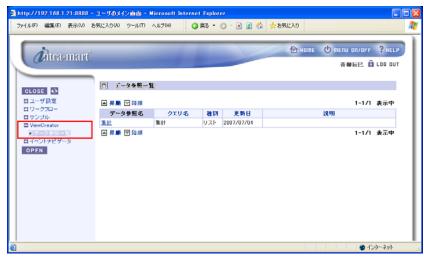


1.2.2 データ参照表示

選択したデータ参照のデータを検索し、データを表示します。



- 検索できるデータ参照の種別は、「リスト集計」と「サマリ集計」です。 「クロス集計」と「グラフ集計」のデータ参照は、検索できません。
- [ViewCreator]メニューから[データ参照メンテナンス]をクリックします。 [データ参照一覧] 画面が表示されます。



〈データ参照一覧〉

2 データ参照一覧から、参照するデータ参照名をクリックします。



〈表示するデータ参照を選択する〉



● 表示されるデータ参照画面については、「1.2.1データ参照表示の種別」を参照してください。

1.2.2.1 検索を実行する場合

データ参照の種別が「リスト集計」と「サマリ集計」で、データを絞り込む場合は検索を実行します。

3 [検索]をクリックします。 [データ参照ー検索] 画面が表示されます。



〈[検索]をクリックする〉



● 検索画面が同一画面で表示する設定になっている場合は、[データ参照]画面の検索結果上部に検索条件が表示されます。

4 表示列を設定します。



〈表示列を設定する〉

[追加>>]ボタン	検索結果の列に表示する項目を追加します。
	左側の一覧から項目を選択し、[追加>>]ボタンをクリックすると、選択した項目
	が右側の一覧に移動します。
[<<削除]ボタン	検索結果の列から表示する項目を削除します。
	右側の一覧から項目を選択し、[<<削除]ボタンをクリックすると、選択した項目が左側の一覧に移動します。
[上へ]ボタン	選択した項目の表示列を1つ上に移動します。
	右側の一覧から項目を選択し、[上へ]ボタンをクリックすると、選択した項目が1 つ上に移動します。
[下へ]ボタン	選択した項目の表示列を1つ下に移動します。
	右側の一覧から項目を選択し、[下へ]ボタンをクリックすると、選択した項目が1つ下に移動します。



● データ参照の種別が「リスト集計」で、「表示カラム設定」の設定が「グループ化」の項目は削除できません。表示カラム設定については、「ViewCreator 管理者 操作ガイド」の「データ参照の新規作成」を参照してください。

5 検索条件を設定します。



〈検索条件を設定する〉



- 表示される検索項目は、ログイングループ管理者が設定した項目です。
- [表示]ボタンをクリックします。[データ参照(リスト)]画面に戻り、検索結果が表示されます。



〈検索を実行する〉



1.2.3 CSV**出力**

現在表示されているデータをCSV形式のファイルに出力します。

データ参照一覧から、参照するデータ参照名をクリックします「データ参照(リスト)]画面が表示されます。



- 検索を実行した場合、表示されている結果のみCSV出力されます。検索手順については、「1.2.2 データ参照表示」の「検索を実行する場合」を参照してください。
- 2 [CSV出力]をクリックします。 確認のメッセージが表示されます。



<CSV出力する>

- *
- 現在表示されているデータがCSV出力されます。
- 3 [はい]ボタンをクリックします。 出力するファイルにヘッダ情報を含むか確認のメッセージが表示されます。
- **4 へッダ情報を含む場合は[はい]ボタン、含まない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。** ファイルを保存するか確認のメッセージが表示されます。
- 5 [保存]ボタンをクリックします。 ファイルを保存するか確認のメッセージが表示されます。
- 7ァイルの保存場所を指定し、[保存]ボタンをクリックします。 ファイルがCSVファイルで出力されます。



1.2.4 HTML**出力**

検索結果をHTML形式のファイルに出力します。

「データ参照一覧から、参照するデータ参照名をクリックします 「データ参照(リスト)]画面が表示されます。



- 検索を実行した場合、表示されている結果のみHTML出力されます。検索手順については、「1.2.2 データ参照表示」 の「検索を実行する場合」を参照してください。
- 2 [HTML形式で出力]をクリックします。 確認のメッセージが表示されます。



〈HTML出力する〉

- *
- 現在表示されているデータがHTML出力されます。
- 3 [はい]ボタンをクリックします。 ファイルを保存するか確認のメッセージが表示されます。
- 4 [保存]ボタンをクリックします。 ファイルを保存するか確認のメッセージが表示されます。
- 5 ファイルの保存場所を指定し、[保存]ボタンをクリックします。 ファイルがHTMLファイルで出力されます。
 - ファイルダウンロードのダイアログで「開く」ボタンをクリックすると、ブラウザの「戻る」をクリックしても元の画面に戻れませんのでご注意ください。

≫ え	>> 7
HTML 出力14	データ参照-覧
>>> <	データ参照表示の種別4
グラフ表示6 クロス表示6	>>> ひ ビュークリエイター2
>>> さ サマリ表示4	>>> り リスト表示4
>>> し CSV 出力13	



intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0

2009/06/30 第2版

ViewCreator ユーザ 操作ガイド

株式会社 NTT データ イントラマート

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 3階

TEL(03)5549-2821 FAX(03)5549-2816

E-mail: info@intra-mart.jp

ホームページ : http://www.intra-mart.jp

Copyright 2000-2009 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.